

令和6年度 青少年姉妹都市（岐阜県海津市）交流事業 参加者募集！！

岐阜県海津市とはどのようなまちか知っていますか？

霧島市は岐阜県海津市と平成18年4月25日に姉妹都市盟約を締結し、姉妹都市交流を実施しています。海津市の青少年と交流し、お互いの歴史・文化・特色などを学んでみませんか？



千本松原

宿泊施設を利用！！

《研修期間》

受入研修 令和6年5月23日（木）～5月25日（土）

訪問研修 令和6年8月21日（水）～8月23日（金）

詳しくは内面をご覧ください。

事業に関する
問合せ先

霧島市道義高揚・豊かな心推進協議会
(霧島市役所市民環境部市民活動推進課道義高揚推進室)
TEL 45-5111(内線1533)
メール simi-katudo@city-kirishima.jp

姉妹都市交流の経緯

昭和30年代後半に、当時の国分市議会議長が鹿児島市議会議長から、岐阜県海津町から毎年新米が贈られてくることを聞き、その内容が薩摩義士の宝暦治水工事を成し遂げたことに由来していることが分かりました。

当時の議長は海津町に実際に足を運び、治水神社で行われる春の大祭に参加され、町民と接し、大祭の様子が顕彰されている史跡等を見て大変感銘を受けられ、国分市の若者を海津町に派遣し、直接肌で「報恩感謝」の気風を感じとらせることによって、市の振興に役立てたらどうかと当時の市長に直言し、市長も同意して直ちに実行にうつしました。昭和43年10月に青年7名と行政関係者1名が海津町を訪問し、想像以上のもてなしに一同は大変驚きました。昭和45年、国分市と海津町は姉妹都市盟約を締結し、それ以来交流の形は異なるものの毎年の交流は続き、合併後も霧島市は平成18年4月25日に海津市と姉妹都市盟約を結び、姉妹都市交流を実施しています。

薩摩義士について

今から約270年前、木曾川・長良川・揖斐川の3つの川をはじめ、大小の河川は雨のはげしい時期になると洪水となり、田畑を押し流し、多くの人命を奪いました。幕府はあまりにも費用のかかることに驚き、経費をおさえるために、治水工事を300里も離れた薩摩藩に命じました。幕府の命を断れば薩摩藩と幕府の戦になったかもしれません。

薩摩藩の家老であった平田靱負翁（ひらたけきえおう）は、「幕府と戦うつもりで、この工事に取り組み、完成させることによって、住民の苦しみを救おうではないか」と意見し、藩主以下皆が賛成、治水工事を引き受けることにしたのです。

1年以上の苦難を経て、工事をやり遂げました。完成までに、切腹者51名、病死者33名の合計84名が命を落とし、今もお現地に残っています。

この工事にかかった経費で、幕府が支出した金額は、わずかに約9,895両で1万両にも足りませんでした。が、お手伝いの薩摩藩が支出した金額は、実に40万両（現在の金額で300億円以上）ともいわれています。工事の中心にあった総奉行平田靱負翁は工事の一切の役目を済ませると、工事費の増大と多くの部下を死なせたことに責任を感じ、自害しました。

この工事は当時の人々の命や財産を守りました。海津市の方々は、その時の恩を今でも忘れずに、これまでも先祖代々、薩摩義士の偉業に対する感謝の気持ちを「報恩感謝」の言葉で引き継いできています。

令和5年度研修生のレポートから

「宝暦治水」という言葉は知っていたけれど、実施にどこで何が行われたのか、どういうものだったのかは今回参加するまで全く知らなかった。実際に訪れ、地域による地形の違いや歴史に驚いた。

心に残っているのは海蔵寺。治水工事や薩摩義士の活躍について、わかりやすく教えてもらった。治水工事には様々な苦勞があったことを改めて知ることができた。

海津市のことだけでなく、自分が住んでいる知らない鹿児島のことまで学ぶことができた。

木曾三川流域の方が今も薩摩義士への感謝の気持ちを忘れずに語り継いでいることを知り、ものすごく誇らしい気持ちになった。これからもお互いの市のことを学んでいきたい。

実際に訪問しなければ両市の深い関係について知ることはなかった。鹿児島では治水工事について関わる機会がなかったが、今回学んだことを伝えていきたい。

海津市の仲間と一緒に宿泊し、バーベキューや花火をして就寝時間まで話したことも忘れられない思い出。

5月受入研修 子ども館からの桜島眺望



8月訪問研修 治水神社（岐阜県海津市）



【 令和6年度 青少年姉妹都市海津市交流事業 参加申込書 】

ふりがな 生徒氏名	(男・女)	写真添付
生年月日	平成 年 月 日 (満 歳)	
学校名・学年	学校 年(現在)	
ふりがな 保護者氏名	(生徒との関係:) ※例:父・母など	
住所	〒 -	
電話番号 ※緊急連絡用	- - (生徒との関係:) ※例:父・母など	
保護者メールアドレス ※メールでお知らせする場 合もあります。	(生徒との関係:) ※例:父・母など	
健康状態	良好・既往症等() ※当事業に参加するにあたり、特筆すべき既往症がある場合は記載してください。	
アレルギー等の有・無	無・有() ※食物アレルギーがある場合は、原因となる食べ物を記載してください。	
市報や新聞等への 写真掲載	可・不可	
参加の動機・理由等 (生徒記入)		

《 令和6年度 青少年姉妹都市海津市交流事業 参加承諾書 》

霧島市道義高揚・豊かな心推進協議会
本部長 霧島市長 中重真一様

姉妹都市海津市交流事業へ参加が決定した場合には、全事業に参加することを承諾します。

令和 年 月 日
住 所

保護者署名

※必ず保護者が
自署してください。

※ご記入いただいた個人情報につきましては、本交流事業以外の目的には使用しません。

令和6年度 青少年姉妹都市（岐阜県海津市）交流事業

趣旨 「道義高揚」運動を推進する本市と「報恩感謝」の気風を持つ海津市との姉妹都市交流事業として、心と心の交流をはじめ、教育・文化・芸術等の特色を学びあい視野を広げること
に寄与することを目的に、2泊3日で互いの市や交流のきっかけとなった薩摩義士に
縁がある場所等を訪問する青少年姉妹都市交流を実施する。

期間 受入研修 令和6年5月23日(木)～5月25日(土) 2泊3日
訪問研修 令和6年8月21日(水)～8月23日(金) 2泊3日
※天候またはその他の理由により上記の日程で実施困難な場合は中止とします。

研修先 【受入研修】霧島市及びその周辺 【訪問研修】岐阜県海津市及びその周辺

研修日程 【受入研修】1日目[5/23(木)] 対面式・夕食歓迎会・交流
2日目[5/24(金)] 市内外視察研修・交流
3日目[5/25(土)] 薩摩義士頌徳慰霊祭参列(鹿児島市)

	霧島市の研修生	海津市の研修生
1日目	自宅	いきいき国分交流センター
2日目	いきいき国分交流センター	いきいき国分交流センター

【訪問研修】1日目[8/21(水)] 夕食歓迎会の参加・交流
2日目[8/22(木)] 岐阜県内視察研修・交流
3日目[8/23(金)] 海津市内等視察研修

	霧島市の研修生	海津市の研修生
1日目	海津温泉	自宅
2日目	かみいしづ緑の村公園	かみいしづ緑の村公園

※研修内容は変更になる場合があります。

募集人数 中学生12名(男6名・女6名)、高校生4名(男2名・女2名)
※定員を上回る場合は、地域性や海津市とのバランスを考慮した上で事務局が抽選する。

応募資格 ●令和6年度2年生を主とする。但し、他の学年も参加可能とする。●霧島市内の中学校・高等学校・高等専門学校(1年～3年)に在学、又は霧島市内に居住する中学・高校・高等専門学校生(1年～3年生) ●保護者の承諾が得られる生徒。●本事業の全てのプログラムに参加し、本研修中に見聞きしたこと、体験したこと、感じたことを本人の可能な範囲で周囲に継承できる者。

その他 ●受入研修時には霧島市主催の夕食歓迎会を実施する。状況によっては、研修生のみのお席とする場合がある。●8月の訪問研修については事前研修を行う。●公募により参加生徒・学生の募集を行うが、定数に満たない場合は再度学校へ依頼する。

参加費 無料

主催 霧島市 霧島市道義高揚・豊かな心推進協議会 海津市 海津市教育委員会

申込方法 右面の参加申込書を記入していただき、保護者の承諾(自署)を得たのち、
2月16日(金)までに担任の先生に提出するか、こちらから入力してください。

申込は↓こちらから



【問合せ先】霧島市道義高揚・豊かな心推進協議会(霧島市市民環境部市民活動推進課道義高揚推進室)

TEL: 45-5111 (内線1533) メール: simi-katudo@city-kirishima.jp

切り取り線